

[2017年11月30日]

鉄建建設株式会社 経営戦略室 広報部

東京都千代田区三崎町2-5-3 〒101-8366

TEL 03-3221-2297 FAX 03-3221-2379

2017年度 全国技術発表会を開催しました ～17日に土木、30日に建築がそれぞれ開催～

■鉄建建設株式会社（本社：東京都千代田区、社長：林 康雄）は、2017年11月17日に土木、2017年11月30日に建築の2017年度全国技術発表会を開催しました。年に1度開催している技術発表会で例年同様、東京千代田区の本社ビル会議室で全国の社員がさまざまなテーマの発表をおこないました。



冒頭、挨拶を行う林康雄 社長
(17日 土木技術発表会)



冒頭、挨拶を行う相越信秀 建築本部長
(30日 建築技術発表会)

■全国土木技術発表会

発表会には全国の土木職社員約110名が聴講参加しました。また、発表会の様子はテレビ会議システムを用いて全国の8支店へ配信を行いました。冒頭、林康雄（代表取締役 社長）は「当社の中で週休2日の導入や働き方改革のためは、生産性の向上がなくては成し得ない。とても難しい課題だが、機械化やプレキャスト化などの効率化施工やICTを積極的に技術導入することは、一つの大きな解決策になりうる。また発注される工事自体も新設工事からリニューアル工事にシフトしてきており必要とされる技術も変わってきています。本日の発表の中にはこれらの参考になるものもあると思います。社会の熾烈な競争に打ち勝つために、自らの技術を磨いてほしい。」と述べました。

発表内容は以下の通りです。

- (1) 工期短縮に向けた取組並びに改善について
- (2) 線路上空における斜角・急勾配鋼床板箱桁の送り出し架設について
- (3) 鋼コンクリート合成（SC）構造函体の施工について
- (4) 空隙のある高強度巨礫層における橋脚立坑の土留め工法変更
- (5) コンクリートの品質向上に向けた取組について
- (6) 線路上空における合成桁撤去について
- (7) 上平井水門耐震補強工事における仮締切工の問題点および対策について
- (8) 既製杭（回転鋼管杭）の施工について
- (9) 大型橋脚における掘削工法について



- (10) 相模鉄道星川・天王町駅付近連続立体交差事業の概要と民鉄工事の特徴について
- (11) 湧水処理の現状とその対策
- (12) カンボジア工事報告及びインド高速鉄道の概要について
- (13) 当社のICT技術について (以上13テーマ)

■全国建築技術発表会

発表会には全国の建築職社員約90名が聴講参加すると同時に、発表会の様子はテレビ会議システムを用いて全国の8支店へ配信を行いました。また、今回は初めての試みとして配布資料のペーパーレス化を図りIT活用促進を図るため、iPadやiPhoneによる資料閲覧としています。冒頭、相越信秀（取締役常務執行役員 建築本部長）は「本日の発表は、日頃の現場での創意や工夫・新工法等により克服したその成果を報告する場です。今回発表される成果を全社で共有し次に繋げ、「技術力」を向上させていきましょう。そしてその「技術力」を今後の受注活動に活かし、さらに生産性の向上や利益の向上にもつなげていきましょう。」と挨拶を述べました。

発表内容は以下の通りです。

- (1) 工事再開に向けての鉄筋コンクリート劣化調査
- (2) 既製杭建込み時の杭高止まり事象と対策
- (3) 秋田駅西口駐車場における工程確保の取組みについて
- (4) 技術提案事項の施工について
- (5) 繁華街の狭隘敷地での合理化施工
- (6) 市街地における液状化対策施工実績
- (7) 曲面上家工事における工程短縮と品質管理の取組みについて
- (8) 川崎ソード発進！ (以上8テーマ)

■当社では技術発表会の内容をTV会議システムやイントラネットでの資料公開で情報共有し、全社で技術力の向上をめざしています。

以上